

法人名	HITOWAキッズライフ株式会社
施設名	太陽の子磯子保育園

発表者名 (職名)	山城麻子 (主任保育士)	住所	横浜市磯子区磯子3-3-21江戸徳ビル2階		
発表者名 (職名)	内田良美 (栄養士)	TEL	045-750-0407	FAX	045-750-0408
発表者名 (職名)	平井真由美 (園長)	メールアドレス	taiyo-isogo@hitowa-kids-life.com		
		URL	https://www.kidslife-nursery.com/		
		定員	81名	職員数	28名

発表の概要・内容

SDGsとは？・地球上で起こっている、貧困・教育・人権・環境・保健・衛生などの課題に対して私たちが行動すべき、世界共通の目標です。2030年までにこれらの目標を達成するために、17の目標が定められました。



【概要】

★ 2018年12月「歯ブラシ回収プログラム」～ぼくたち、わたしたちの未来のために～をスタートしました。園だよりや運営委員会を通して、保護者に使用済みの歯ブラシ回収協力をお願いしました。1本の歯ブラシを持ってくる毎に、1枚シールを貼る。シールの枚数で、歯ブラシが何本集まったか見られるようにすることで、子どもたちの興味関心につながるよう計画し、実施しました。

★2018～2019年 テラサイクルジャパンによる環境教育を、3・4・5歳児クラスに実施。海洋ごみ問題やプラスチックの再生について、映像などを通して子どもたちと考えながら、SDGs 開発目標「12つくる責任・使う責任」「14海の豊かさを守ろう」学びました。

★2020年3月 「SDGsをじぶんごとに～地球上でくらすみんなへのおもいやり」を5歳児クラスに実施。「SDGs」のマークを伝え、「歯ブラシ回収プログラム」の振り返りを行いました。

★2020年4月 「SDGs」という言葉やマークが、テレビや新聞、そして身のまわりで聞いたり見たりする場面が増えていました。「SDGs」が子どもたちの未来につながる行動であり、決して特別なことではなく、保育と同じ視点で取り組めるのではないかという思いから「保育園から始めるSDGs」とし、スタッフが中心となり子どもたちへ環境教育を実施しました。地域への働きかけとしては、「神奈川県プラごみゼロ宣言」へ保育園として登録しました。

★2021年1～3月 5歳児保育実践 「SDGsってなんだろう」を実施。SDGsの2030年までの17の目標にはどんな意味があるのだろうか？子どもの興味や関心、想像を膨らませてみました。子どもたちが15歳になった頃、どんな社会、どんな地球になっているのでしょうか？今、地球では、どんな問題が起きているのか、子ども達が理解しやすい言葉や絵本を使いながら、一緒に考える時間を作りました。学びの中心となったのは「12 つくる責任・つかう責任」です。そして、「プラスチックごみ」に焦点をあて、「14 海の豊かさを守ろう」についても考えました。自然に出てきた子どもたちの言葉に、幼児期からSDGsについて学ぶことは、決して早いことではなく、どんなことでも吸収しようとする今だからこそ、伝えていくべき大切なことなのではないかと思いました。17のマークを見た子どもたちは、マークの意味を1つ知るたびに、「こっこのマークの意味は何？」と他のマークにも興味を示します。「2 飢餓をゼロに」「4 質の高い教育をみんなに」「5 ジェンダー平等を実現しよう」「6 安全な水とトイレを世界中に」「15 陸の豊かさを守ろう」など、全部で7つのマークを学びました。この学びが、子どもの興味関心から始まり、自分で考え行動を起こすという姿につながることをねらいとしています。最後に、SDGsが何か特別なものではなく、知識や技術に関係なく、できる一つの行動から始められることを、未来を生きる子どもたち伝えていきたいと考えています。

メモ